

令和7年度 第2回 渋谷区防災会議

令和7年12月8日(月)

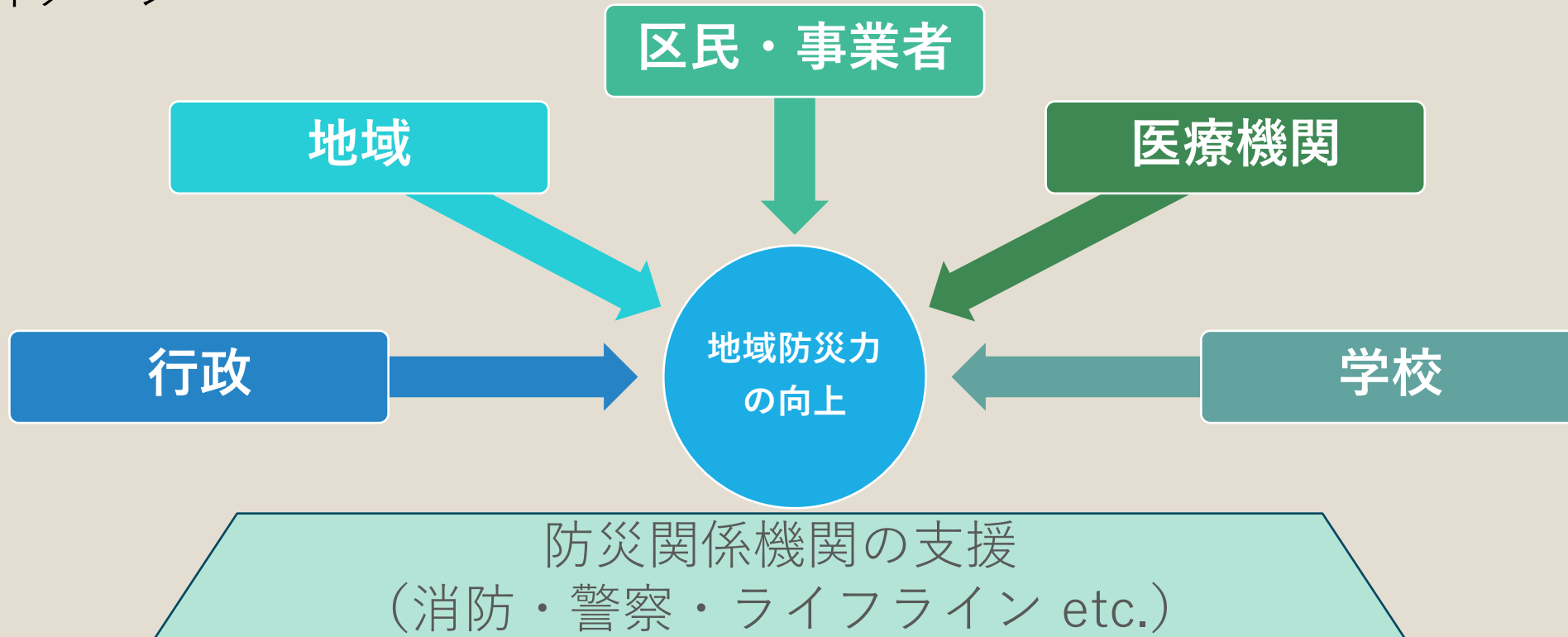
議 題

令和7年度「防災点検の日」
事業計画(案)について

【資料1】

令和7年度「防災点検の日」事業計画（案）について

- 1 概要 渋谷区では、地域防災力向上のため、各組織が一年を通じて様々な活動を実施している。1月17日は渋谷区震災対策総合条例に「防災点検の日」と規定されており、各組織が連携をし各種点検を行うこととなっている。
- 2 目的 **区、区民、事業者、関係機関が一体となって点検を実施し、「地域防災力」の向上を図る。**
- 3 事業イメージ



●実施体系

項目	概要	参加者
地域防災点検	地域における安全確認、資機材点検を実施	区民、地域、事業者
個人備蓄点検	個人備蓄チェックリストによる個人備蓄の確認	区民、事業者
安否確認メールシステム点検	児童・生徒等の安否確認メール・安全確保体制の確認	区民、区、学校（幼稚園、保育園含む）
通信機器点検	各種通信機器を活用し、関係機関との通信点検を実施	区民、区、医療機関、事業者
職員一斉点検	防災点検の日を基準に区有施設等を確認・点検	区、学校
応急給水施設点検	応急給水施設の資機材点検を実施	区、東京都
徒歩参集経路点検	発災時、公共交通機関が利用できない事態を想定し、参集場所までの経路を徒歩で確認	区

地域防災点検

実施日 : 令和8年1月17日(土)を基準に実施

点検内容 : 防災倉庫の所在地確認及び庫内の整理整頓、要配慮者支援方法の確認
ポンプ・スタンドパイプ保管状況、街区消火器の所在確認「地域防災点検票」により点検

参加者 : 区民、地域、事業者

個人備蓄点検

実施日 : 令和8年1月17日(土)を基準に実施

点検内容 : 個人備蓄チェックリストによる個人備蓄の啓発

参加者 : 区民、事業者

点検方法 : 個人備蓄チェックリストにより点検

周知方法 : 区ニュース、HP等で「個人備蓄点検」を案内し、小中学校等にチェックリストを配布

安否確認メールシステム点検

実施日 : 令和8年1月16日(金)に実施

点検内容 : 安否確認メールシステム稼働確認、未登録者に対する対応確認

担当課 : 人事課、保育課、学務課

参加者 : 区民、区、学校(幼稚園・保育園含む)

通信機器点検

実施日 : 令和8年1月16日(金) 9時00分～12時00分

点検内容 : 高所カメラ、防災ポータル、防災行政無線等の操作方法の確認、災害時自動電話情報サービス「しらせる君」動作点検、移動系防災行政無線定期試験(1月15日(木)実施)

参加者 : 区民、区、医療機関、事業者

職員一斉点検

実施日 : 令和8年1月16日(金)を基準に実施

点検内容 : 区有施設等の確認・点検、災害対策班の分掌事務及び役割分担を確認(職員行動マニュアル等を参照)、防災システム入力点検、eラーニングによる職員参集体制等の確認

参加者 : 区、学校

応急給水施設点検

実施日 : 令和8年1月下旬

点検内容 : 応急給水施設の資機材点検

実施場所 : 都立第一商業高等学校、区立景丘公園、都立代々木公園

参加者 : 区、東京都

徒歩参集経路点検

実施日 : 令和8年1月下旬

点検内容 : 発災時、公共交通機関が利用できない事態を想定し、各職員が指定された参集場所までの経路を徒歩で確認

参加者 : 区

報告(1)

令和7年度訓練実施結果について

【資料2】

令和7年度訓練実施結果について

■ 渋谷防災キャラバン：開催場所

令和7年度 渋谷区総合防災訓練

きて、みて、体験！みんなの防災

渋谷防災 キャラバン

渋谷区総合防災訓練

渋谷防災キャラバン

今年度は
11地区開催！



令和7年度は、地域の自主防災組織およびS-SAP協定締結企業の協力のもと、区内11地区すべてを会場とした体験型防災訓練を初めて実施しました。これにより、より多くの住民が自宅近くの地域拠点で防災に触れられる環境を整え、参加しやすい体制を強化することができました。

1	千駄ヶ谷地区
会場	地域交流センター 代々木の杜
日時	5月31日(土)

2	氷川地区
会場	広尾小学校
日時	6月14日(土)

3	本町地区
会場	本町CC本町コミュニティセンター
日時	6月21日(土)

4	大向地区
会場	松濤中学校
日時	6月28日(土)

5	上原地区
会場	富谷小学校
日時	9月20日(土)

6	恵比寿地区
会場	長谷戸小学校
日時	10月4日(土)

7	神宮前地区
会場	神宮前小学校
日時	10月18日(土)

8	西原地区
会場	西原小学校
日時	10月25日(土)

9	新橋地区
会場	臨川小学校
日時	11月8日(土)

10	笹塚地区
会場	笹塚小学校
日時	11月29日(土)

11	初台地区
会場	代々木山谷小学校
日時	12月6日(土)

■ 渋谷防災キャラバン：開催報告

千駄ヶ谷地区 参加者：323名



氷川地区 参加者：957名



本町地区 参加者：1,217名



大向地区 参加者：1,346名



上原地区 参加者：1,520名



恵比寿地区 参加者：1,242名



■ 渋谷防災キャラバン：開催報告

神宮前地区 参加者：1,074名



西原地区 参加者：1,502名



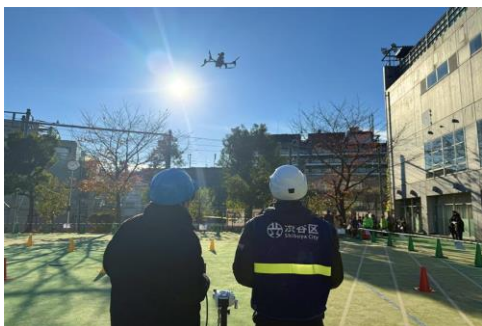
新橋地区 参加者：458名



笹塚地区 参加者：1,367名



初台地区 参加者：1,597名



11地区合計 12,603名

【参考】令和6年度5地区：7,208名
令和5年度6地区：7,287名

≪地区訓練と同時開催≫
千駄ヶ谷地区、本町地区、大向地区、上原地区、
恵比寿地区、神宮前地区、笹塚地区

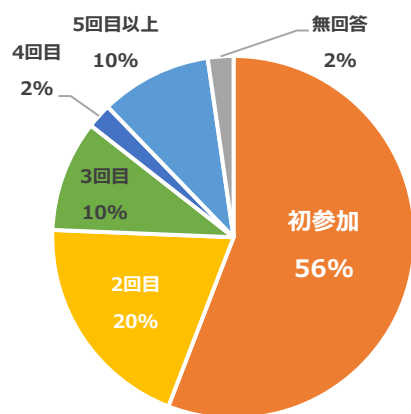
■ 渋谷防災キャラバン：アンケート報告 -1

(とても満足・やや満足) (かなり変わった・ある程度変わった)

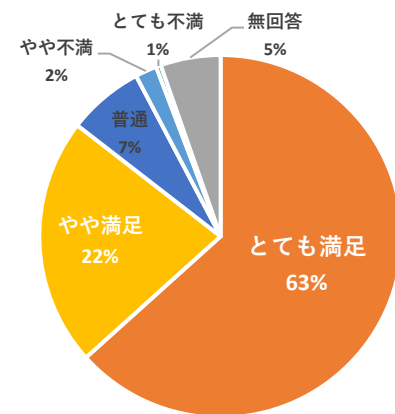
満足度**85%**、意識変容**89%**、次回への参加意欲**84%**と、全体的に高い評価となっている。また、地域の防災訓練への参加経験について「初参加」との回答が過半数を占めている。

渋谷防災キャラバンは今年で実施4年目を迎えるが、リピート参加による防災意識の定着を促進する機会創出のみならず、地域の防災訓練に参加したことのない方の参加促進により、防災意識向上の機会創出に寄与している結果となった。

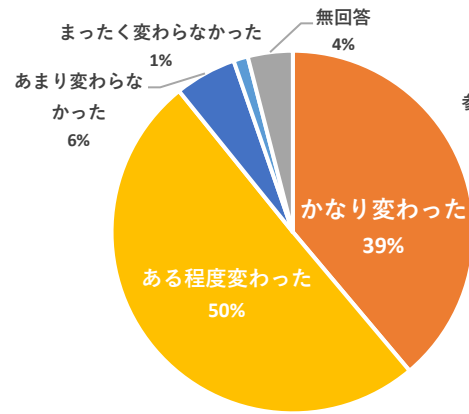
Q. 地域の防災訓練への参加経験



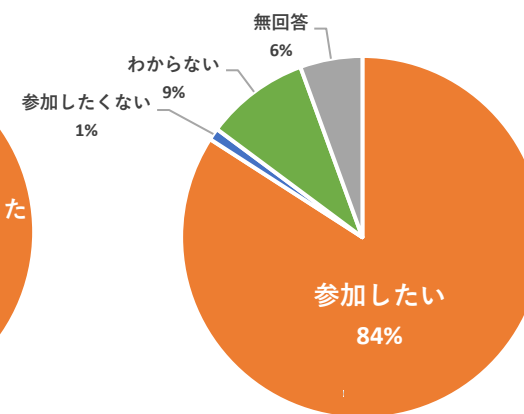
Q. 渋谷防災キャラバン全体への満足度



Q. 参加して防災意識が変わったか？



Q. 次回開催されたら参加するか？



回答者数：2,842名 (*新橋地区分まで)

【ご意見・感想】

1. 開催について

- ・このような催しを数多く開催してほしい。
- ・とてもいいキャラバンで、継続してほしい。
- ・忘れないよう時々参加するとよいと思いました。
- ・前にも防災キャラバンに参加したことがありましたが、忘れていたことだらけだったのでまた参加したいです。
- ・久々の参加で忘れていたことがあったので、定期的に参加したいです。
- ・毎回参加し、見直しをしています。
- ・ちがう学校（渋谷区内）でも開催してほしい。
- ・年1回自らの防災について考えるきっかけになります。
- ・親子で楽しみながら大切なことを学べるのがありがたいです。
- ・子供が楽しめるよう工夫されていて良かったです。
- ・子どもも分かりやすくて助かった。
- ・知らないことも多く、実際に体験もできてためになった。

【ご意見・感想】

2. 防災意識の向上

- ・ 防災について見直す機会になりました。
- ・ 新しい防災グッズがいっぱいある事がわかりました。
- ・ 防災が当たり前という価値観に変わりました。
- ・ 防災について考えられるとても良いイベントだと思いました。家族でも防災を見直したいです。
- ・ 今回防災イベントに参加して、実際に渋谷区の職員から話を聞いて大変良い機会になった。
- ・ ペットと暮らしているので、日常的にペット防災を考えていきます。
- ・ 災害についての意識が変わったのでよかったです。

3. 地域との連携について

- ・ 地元で防災イベントを開催してくれて参加しやすかったのですごくうれしかった。
- ・ 他の地域のイベントにも参加して参考にしたい。
- ・ すごく盛り上がっていておどろきました。地域で防災意識を高めていくのは大事だなと感じました。
- ・ 楽しかったです。炊き出し訓練の豚汁おいしかったです。
- ・ ○○小の役員です。防災の学習をし、今後も続けて指導していきたいと思います。

【ご意見・感想】

4. 学校連携について

- ・小さい子どもでもできる簡単な訓練もあったのでいいと思いました。
- ・中学生が頑張っていました。
- ・スタンプを押してくれるお子様が元気でとてもよかった。

【参加した生徒の感想】

- ・災害についての意識が変わったので良かったです。
- ・今日初めて知ったことばかりで、また参加したいなと思いました。
- ・楽しかったのでまた友達と行きたいです。
- ・楽しく防災のことを知れて良かったです。これからも地震に備えようと思います。
- ・食事は最低でも3日分を用意しておかないといけないことを知った。
- ・とても防災のことについて知れました。友達と行ったのでより楽しさが増して防災のことについてよく知れました。
- ・学校の授業として学べて良かった。
- ・お手伝いも楽しかったし、スタンプラリーもとても楽しかったです。

【ご意見・感想】

5. 体験

- ・遊びながらもきちんと学べて楽しかったです。
- ・今日の防災キャラバンを通して消火器の使い方と家庭でなにを備蓄するかを知りました。今度も参加します。
- ・消火器の使い方や、煙体験などはじめて体験するようなものばかりでためになった。
- ・ドローンを身近で見れて楽しかったです。
- ・避難所へのチェックインシステムが大変画期的だと思いました。
- ・教え方がわかりやすかった。
- ・AEDの使い方を確認できたのでよかったです。
- ・煙避難体験などあまり体験できないことができ、楽しかった。
- ・救急車の中の見学や消火器の体験ができたので、だいぶ災害にあったときの不安がなくなってよかった。
- ・転倒家具挟まれ体験でタンスが倒れてきて怖かった。

▶ 11地区で地域防災力向上を推進

今年度は全11地区で防災キャラバンを開催し、地域の特性に応じた啓発活動も展開。地域全体の防災力向上につなげました。

▶ 児童・生徒の参画による防災教育の推進

学校と連携し、児童・生徒が運営補助や学習参加を通じて防災を学ぶ仕組みを整備しました。児童向けの防災講話も実施し、地域と連携した防災教育を推進しました。

▶ 避難所運営委員会・自主防災組織と連携した実施体制の充実

各地区で避難所運営委員会や自主防災組織の参加が進み、地域の主体性が高まりました。地区防災訓練との同日開催等、地域全体で防災力向上を図りました。

▶ 体験的に学ぶ機会に

新たな取り組みとして「転倒家具挟まれ体験」や「煙避難体験」を導入し、参加者が災害時に想定される危険性を具体的に理解し、安全行動の必要性を体験的に学ぶ機会を提供しました。

■災害対策本部訓練

令和7年度第1回災害対策本部訓練

実施日

令和7年9月1日（月）

実施場所

区役所801-1・2会議室（テレビ会議方式併用）

参加者

区、協定締結自治体、東京消防庁、警視庁、陸上自衛隊、
その他関係機関

実施内容

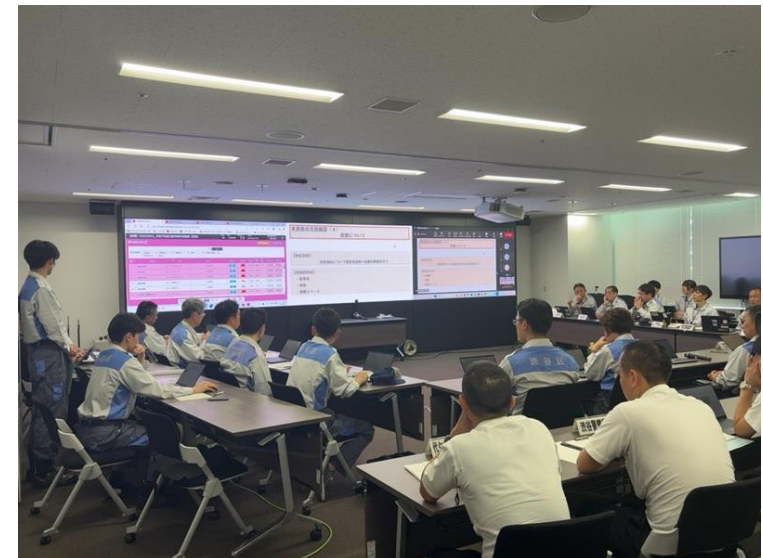
大規模震災発生時における物資輸送や受援体制の調整を行い、
災害対策本部会議の運営及び区と関係機関との体制を確認する。

実施成果

区と関係機関との調整要領および連携体制について把握した。

今後の予定

第2回災害対策本部訓練を令和8年1月15日（木）に実施予定



■災害対策各部訓練

令和7年度緊急医療救護所の設営及びトリアージ訓練【災対健康部】

実施日

令和7年9月7日（日）

実施場所

ひがし健康プラザ1階

参加者

渋谷区医師会、渋谷区歯科医師会、渋谷区薬剤師会、
日本赤十字社医療センター、都立広尾病院、区

実施内容

実際の緊急医療救護所の配置を想定した設営訓練を実施した。
区参集職員を傷病者役とし、緊急医療救護所でのトリアージ訓練を実施した。

実施成果

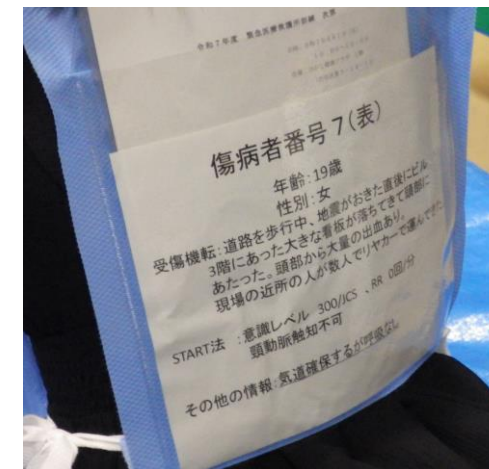
実践的な訓練を初めて実施
訓練実施により役割分担や備品等の課題発見



トリアージタグの記入



傷病者の搬送



傷病者役は症状を記載したビブスを着用

■災害対策各部訓練

令和7年度災害ボランティアセンター訓練 【災対受援総務部】

実施日

令和7年10月14日（火）

実施場所

文化総合センター大和田 区民学習室ほか

参加者

区、社会福祉協議会

実施内容

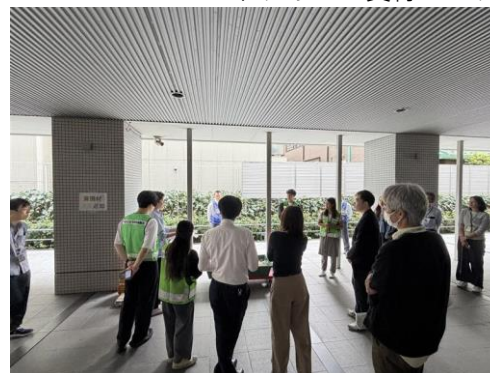
次年度の導入を予定している災害ボランティアセンター運営支援システム（JoyLinks）を利用した訓練を実施した。ボランティア側が、スマートフォンを活用し、受付・マッチング・資機材の返却運用・作業報告まで一連の流れを体験した。ニーズヒアリングについても、オンライン上での登録、管理方法の説明など座学も実施した。

実施成果

訓練を通して災害ボランティアセンターの業務の流れを理解し、災害時の実効性を高めた。また、システムを実際に体験し、操作方法など詳細な業務を把握することが出来た。



スマートフォンで受付・ボランティア登録をしている様子



システムの利用方法に関する説明を行っている様子

■ 災害対策各部訓練

令和7年度り災証明書発行関連訓練 【災対区民部】

実施日

令和7年10月31日（金）

実施場所

区役所14階大集会室

参加者

区、株式会社東急コミュニティー

実施内容

株式会社東急コミュニティーと合同で、非木造住宅の構造や調査手法、平面図作成を学ぶ座学と、写真・パネルを用いた模擬調査実習、ドローンのデモ飛行を実施した。

実施成果

非木造住宅の基本的な構造理解と作図・調査手法を学び、被害認定調査実習で実践力を高めた。



座学（構造・調査手法・図面作成）の様子



模擬調査実習前の準備の様子



模擬調査実習の様子



ドローンのデモ飛行の様子

■災害対策各部訓練

令和7年度 渋谷駅周辺帰宅困難者対策協議会総合訓練 【災対統括部】

実施日

令和7年11月26日（水）

実施場所

渋谷サクラステージ

参加者

区・渋谷駅周辺帰宅困難者対策協議会
警視庁・東京消防庁

実施内容

渋谷駅周辺帰宅困難者対策協議会会員が帰宅困難者役となり、施設内の移動動線を確認。また、帰宅困難者受入施設の開設や受入シミュレーションを実施。あわせて、災害用ドローンの飛行や情報収集を見学。

実施成果

帰宅困難者対策協議会の会員相互の連携や役割を確認し、訓練を通しての課題抽出や検証を行い、今後の協議会活動の深度化や渋谷駅周辺の帰宅困難者対策を推進した。



シェイクアウト訓練（安全確保行動）



帰宅困難者の受入れ動線の確認



帰宅困難者受入のシミュレーション



ドローンカメラによる情報収集

■災害対策各部訓練（今後の実施予定）

り災証明書発行訓練【災対区民部】

実施日：令和8年1月9日

実施場所：区役所801会議室

実施内容：被災者生活再建支援システム操作研修

参加者：区

医療救護訓練・避難所支援訓練【災対健康部・災対統括部】

実施日：令和8年1月31日

実施場所：日本赤十字社医療センター、鉢山中学校、猿楽小学校

実施内容：緊急医療救護所開設、避難所での医療処置・搬送調整等

参加者：区、日本赤十字社、医師会、歯科医師会、薬剤師会、避難所運営委員会

帰宅困難者対策協議会情報伝達訓練【災対統括部】

実施日：令和8年1月中

実施場所：渋谷区防災アプリ

実施内容：発災を想定した情報伝達

参加者：区、各駅の帰宅困難者対策協議会員

被災建築物応急危険度判定訓練【災対建設部】

実施日：令和8年1月～2月(予定)

実施場所：区有施設

実施内容：被災建築物応急危険度判定実施訓練

参加者：区、東京都建築士事務所協会渋谷支部

避難所運営訓練

災害時に地域の重要な防災拠点となる区内の避難所において、避難所運営委員会を中心に、受入訓練や各種資器材の取扱い訓練を実施中

- 避難所DX受付訓練
「渋谷区防災アプリ」内に実装した「避難所チェックインアプリ」を活用した受付訓練を実施中
- 避難所点検
9月1日を基準に各避難所運営委員会、避難所参集職員、施設管理者等により、避難所関連資器材等の点検を実施して、実効性を向上

自主防災組織訓練

自主防災組織を中心に地域の特性に合わせた初期消火、救出救助や応急救護、災害時を想定した炊き出し等の訓練を実施中



〈上原中避難所運営訓練〉



〈富谷小避難所運営訓練〉



〈大向地区訓練〉

報告(2)

避難所整備の取組について

【資料3】

令和7年12月8日
渋谷区防災会議【資料3】

避難所整備の取組について



避難所環境改善の動向

・令和6年12月

内閣府「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」等を改定

- ➡ ① 避難者1人あたりのスペースが増加（ $1.65\text{m}^2 \Rightarrow 3.5\text{m}^2$ ）
- ② T K B B（トイレ・キッチン・ベッド・バス（入浴））の環境改善が明記

・令和7年3月

東京都「東京都避難所運営指針」改定

➡上記国指針の改定に併せてスフィア基準等を盛り込んだ環境改善策が明記

例) 生活空間の確保（避難者用スペース 2人で $3.3\text{m}^2 \Rightarrow 1$ 人で 3.5m^2 ）

トイレ環境の改善（発災当初50人に1基）、食事の提供、入浴機会の充実 等

- 渋谷区においても避難所の環境改善に向けた取組みを今後推進していく

取組 1 避難所面積の確保について

【現状】 避難者想定：35,416人 避難所:33カ所

⇒新基準（1人/3.5㎡）の場合、123,956㎡の面積が必要となるため、以下の取組みを展開していく。

① 区有施設を避難所として追加指定

一定数（概ね50人）が避難可能な区有施設を選定、指定避難所に追加指定

② 協定避難所の指定

都立高等の「協定避難所」と協議を実施、指定避難所化を図る

③ その他施設や協定事業者との連携

国や都の施設（例：JICA）や事業者との災害時支援協定（例：ホテル旅館組合）を活用

④ 協定自治体への移送

生活環境が整っている被災地外への移送を想定し、協定自治体との連携を想定

取組2 T K B Bへの対応

項目	配備状況
T (トイレ)	<ul style="list-style-type: none">令和6、7年度で避難者想定数分の携帯トイレを避難所へ配備完了予定在宅避難者分として東京都寄託品による携帯トイレ配備もエントリー済トイレトラックを実装し、運用開始予定災害時にでも利用できるトイレを学校建替え等の進展に合わせ順次対応
K (キッチン)	<ul style="list-style-type: none">多様な避難者への対応<ul style="list-style-type: none">⇒ 3食セットをアレルギー対応+ハラル認証品を導入 (令和7年度～)温かい食事の提供<ul style="list-style-type: none">⇒ 令和6年度に新型炊き出しバーナーを33避難所に配備済
B (ベッド)	<ul style="list-style-type: none">令和7年度から3ヵ年で避難者想定数分を配備予定
B (バス)	<ul style="list-style-type: none">区有施設及び協定事業者等施設で対応可能<ul style="list-style-type: none">⇒ 今後は入浴設備保有施設までの避難者輸送スキームの検討等を実施